

主な質問と答弁（抜粋）

32人の中学生議員が1人ずつ登壇。市政への提言や質問を行い、それに対して市長、教育長らが答弁しました。予定時間を1時間近く延長するほど熱の入ったものとなりました。

コンピューター学習への支援

問 現在、学校には40台のパソコンがありますが、さらに効率よく学習ができるようにもう少し増やしてください。また、インターネットの接続速度を早めてもらえませんか。

答 学校教育におけるコンピューターの役割は、年々重要になっていきます。そこで、市としても平成17年度までに普通教室や特別教室にコンピューターを導入する計画を持っています。さらに、インターネットの接続速度を向上させるために、ADSL回線の使用が可能な学校については、順次導入していく予定です。また、今後さらによりよい方法があれば考えていきたいと思っています。

マイバッグ運動の推進

問 マイバッグ（買い物袋）持参運動が行われていますが、実践している人が少ないように思います。現在と今後の取り組みを教えてください。

答 商店街組合と協力して、平成12年度には名鉄新安城駅周辺の約200店

で2200枚、平成13年度にはJR安城駅周辺のスーパーなどで約1500枚のマイバッグを配布しました。また、現在、JR安城駅周辺の約20店舗で、1店舗あたり約50枚を配布する予定です。今後は、さらに広くPRするとともに、商店街の皆さんとも話し合いながら、買い物袋を持参した人の特典を与えるようなことができればと考えています。なお、市内の大型スーパーなどでは店独自でスタンプ制度などのマイバッグ支援運動を行っています。

フラワーロードに無料レンタルサイクルを

問 JR安城駅からデンパークまでを花でいっぱいにしてと整備されている「フラワーロード」をもっとたくさんの人に知ってもらうため、放置自転車を活用して、無料で自転車の貸し出しをしてみてはどうでしょうか。

答 市が自転車の無料貸し出し事業を行うこともできますが、現在NPO（民間非営利団体）の皆さんがJ

R安城駅を中心としたレンタルサイクルについて検討を重ねています。民間にまかせることによって、経費削減や経済効果につながることもありそうです。民間の力をお借りしようと思っています。また、放置自転車の利用についても、修理や塗装などの整備が必要ですので、併せてNPOの皆さんに相談してみます。

バリアフリーの推進

問 道路や施設のバリアフリーと心のバリアフリーを進めるため、市ではどのような施策を進めていますか。

答 市内には歩道と車道を分けるブロックやさくのないところがまだ多くあります。市としては、すべての人が不自由なく外出でき、安心してどこにでも行けるまちづくりを進めたいと考えています。現在新設している歩道は、人にやさしいものになるよう心掛けていますが、古い歩道の段差などにも必要に応じて順次改修していきます。また、新しく建設する施設についてもバリアフリーに適応したものとします。公共施設のバリアフリーを推進することにより、民間の店舗などの施設も自発的に整備されることを願っています。

心のバリアフリーについても、人にやさしいまちづくりにはとても大切なことです。それには市民一人ひとりがやさしさと思いやりの心を持



つことが大切だと考えています。バリアフリーに対する意識が若い人たちに根付いていることを喜ばしく思っています。これからも、学校での教育や交流を通して、お互いに助け合える「福祉のこころ」を育てていきたいと思っています。

碧海5市の合併

問 碧海5市合併の話をよく耳にしますが、何か決まっていることはありますか。

答 具体的に決まっていることは何もありません。合併する、しないを含めてすべて未定です。メリット・デメリットと一般的に言われていることはたくさんありますが、必ずしもすべての人に共通したものではありません。現段階では、もし合併したらこういう市になりますという将来像を5市で一緒に考えることがまず必要だと思っています。

不燃ごみの今後の処理

問 現在の埋め立て場はすでに満杯だと聞きましたが、今後、どのように不燃ごみ処理を行うのですか。

答 榎前町にある現在の埋め立て場は、ご質問のようにほとんど埋まっている状況で、このままではあと5年ほどで満杯になってしまいます。しかし、ここに埋められているごみは、ほとんどがリサイクルプラザができる前に埋め立てられたもので、分別可能なプラスチックや鉄類がたくさん入っています。そこで、埋まっているごみを掘り返し、リサイクルプラザで行っているような破碎・選別処理をして、リサイクルできるものと可燃ごみを取り除くことによつて、埋め立て場の延命化を図る計画を立てています。その結果、あと15年以上は利用できるものと考えています。

あんくるバスの拡充

問 あんくるバス（市内循環バス）を通学や学習活動に使えるように、路線の充実と運行時間の延長をお願いできませんか。

答 あんくるバスは、現在、市街地線、高棚線、北部線の3路線で、午前7時30分から午後6時30分ごろまで運行しています。10月からは、桜井線と南部線の2路線を増設し、さらに来年度には東西を結ぶ新規路線も計画しており、最終的に計6路線にするよう準備を進めています。し



かし、運行時間の延長については、現在、車両1台につき運転手1人で運行している関係で、運転手の体力的にも困難と考えています。これ以上運転手や車両を増やすと、大幅に経費が増えることになり、現状では難しいと考えていますので、ご理解をお願いします。

市民参加型の七夕まつり

問 わたしたち中学生も参加できるような七夕まつりにするために、テーマに沿った七夕飾りづくり、ごみ回収学生ボランティア、軽快な音楽に合わせた踊りの大会などを企画してみはどうですか。

答 安城七夕まつりは今年で49回を数えました。これまで様々な催しや行事がその時代の世相を反映して実施されてきました。近年では、見る七夕から参加する七夕へさらなる変化を見せています。今年の七夕まつりにおいても、多くの市民の皆さんが、ごみかごボランティアなどに参



加したり、安城七夕まつり協賛会や各商店街の舞台などに出演したりしました。また、市制施行50周年記念で「Dan Spo ANJO」という踊りを楽しむ行事を行ったところ、市内外からたくさんの方が訪れ、大変な盛り上がりを見せました。いよいよ来年は、七夕まつりも50回の節目の年を迎えますので、市民みんなの七夕まつりになるよう今後も努力していきます。

油ヶ淵水質浄化への取り組み

問 清掃活動で湖岸はきれいになってきた油ヶ淵ですが、水質はなかなか改善されません。市は、どのように水質浄化に取り組んでいますか。また、油ヶ淵が公園になると聞きましたが、どこまで進んでいますか。

答 皆さんの清掃活動のお陰で湖岸の美化が図れたことを感謝しています。現在、県と油ヶ淵周辺4市で油ヶ淵水質浄化促進協議会を設立し、下水道などの生活排水処理施設の設置、湖底のヘドロの除去、生活排水の浄化意識の啓発に努めています。河川の水質改善には、市民の皆さん

が、家庭から出る生活排水が水質悪化の大きな要因となっていることを認識し、きれいな河川を取り戻すために具体的な行動をしていただくことが重要です。できることから一歩着実に行動に移していただければと思います。

油ヶ淵の公園づくりは、県によって進められており、このほど基本構想がまとまりました。「交流と憩いのゾーン」「農の文化ゾーン」「歴史と花のゾーン」「水のセンターゾーン」「自然再生ゾーン」の5つのゾーンを公園づくりの基本に据えています。市としては、地元住民の皆さんと調整協議しながら、一日も早く建設できるよう努力していきます。

市へ意見を出す方法

問 気軽に市に意見が言えるように専用のポストを公共施設に置いてみたはどうでしょうか。

答 市民の皆さんのご意見を聞くことは市を発展させていくうえで大変重要なことだと考えています。ご提案の専用ポストの設置も大変有効な方法であると思いますので、今後の参考にさせていただきます。

なお、毎年10月には「市長へ手紙を出す旬間」を設け、様々な意見をいただいています。もちろん、その期間中だけでなく、市政へのご意見や建設的な提案を、手紙、ファクス、電子メールなどで受け付けていますので、お気軽にご意見をお寄せください。